

# 菅生川蟬会 4年ぶり交歓会 成人を祝う会も 300人が旧交を温める



東海大学菅生高等学校  
菅生川蟬会 新年交歓会・成人を祝う会

東海大学菅生高校（あきる野市菅生）の同窓会、菅生川蟬会の新年交歓会が2月3日、フォレスト・イン昭和館で開かれた。4年ぶりの開催となり、合同で行った34期生から37期生の成人を祝う会の出席者146人と教職員を含め約300人が旧交を温め合った。

**渡邊会長 同窓の縦、横のつながりを強めよう**

同窓会は1期生が50歳の節目を迎えた。2018年4月に発会した。翌年、交歓会が開催されたが、以降はコロナ禍に置かれ、行事が行えず歯がゆい思いをしてきた。

発会時から会長を務める渡邊弘行さんは「親睦を深め、同窓の縦、横のつながりを強め、今後に生かそう」とあいさつ。

島田幸成理事長、峰岸英仁校長は、卒業生の須藤悠さんが新成人代表で謝辞を述べた。同校後援会長の橋本健司さんの発声で乾杯。

の頑張りと同窓生の活躍を称える祝辞を贈った。

同窓会から新成人にターバックスのマグカップが贈られ、37期生の須藤悠さんが新成人代表で謝辞を述べた。

23期生でものまね芸人のちなっぴーさん（本名・先久千夏）のステージなどが花を添え、お楽しみ抽選会で大きな盛り上がりを見せた。

同高は1982（昭和57）年に開校。これまで1万8121人の卒業生を送り出し、社会にあつて存在感を高めている。運営する菅生学園は中等部、初等学校も設立。一貫教育が行われている。

後援会長の橋本さんの発声で乾杯

## 被災の日本航空高校石川が青梅移転 明星大青梅キャンパス跡地への協議進む

能登半島地震で被災した日本航空高校石川（石川県輪島市）を青梅市長洲の明星大青梅キャンパス跡地に白羽の矢が立った。

学校法人日本航空学園は、1932年に創立された航空従事者養成校。山梨県に

梅キャンパス跡地に移転する協議が、同校を運営する学校法人日本航空学園（山梨県甲斐市）、学校法人明星学苑（府中市）、の間で進んでいる。東京都、青梅市も承認している。

関係者によると、明星学苑が同キャンパス跡地を日本航空学園に3年間ほど無償貸与する方針。国の復興予算で、敷地内に生徒らが居住する20人用のプレハブ宿舎40棟を整備する。行政もインフラの補修などで協力する。

同校はこれまで山梨県の系列高校キャンパス内に一時移転することを検討、4月から仮校舎で新入生も含めた全生徒約600人が学ぶことになっていた。ただ、一時移転期間は復旧状況により定まらず、関係機関は長期の展望に立った打開策を模索。空き状態にある同キャンパス跡地に白羽の矢が立った。

### 日の出町大久野と青梅市梅郷結ぶ 3月16日開通



見込めるほか、肝要周辺地域に通じる道路がこれまででは184号奥多摩あきる野線に限られていたが、青梅方面からのアクセスも可能になり、防災面での向上も図られる。

地元には御岳山や日の出山の登山客らでにぎわう「生涯青春の湯・つるつる温泉」もあり、青梅市の梅郷、御岳地区などの

都道238号大久野青梅線のうち、日の出町大久野肝要と青梅市梅郷1丁目を結ぶ梅ヶ谷トンネルを含む1.5キロ区間が3月16日に開通する。当日は式典などを行い、15時に開放する。

梅ヶ谷トンネルの開通で、日の出と青梅間のアクセス時間短縮が期待される。

日本航空高校石川はスポーツの強豪校として知られており、今年度のセンバツにも出場する。ラグビーは全国大会に19回連続で出場しており、同キャンパス跡地の広いグラウンドはスポーツの面からも有効だ。

計画時から無駄な公共事業との指摘もあったが、2019年の台風19号で平井川が増水。川沿いを通る184号奥多摩あきる野線が寸断され、上流地域が孤立化したことで、事業の重要性が高まった。

生徒らが居住する20プレハブ宿舎40棟